

## 標準学力検査及び全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえた学力向上対策

### 1 本市の現状

- (1) 今年度の全国学力・学習状況調査は、小学校 6 年生を対象に国語 A、国語 B、算数 A、算数 B、理科、中学校 3 年生を対象に国語 A、国語 B、数学 A、数学 B、理科で行われた。本市の結果で全国平均を上回ったのは、小学校の国語 A、理科、中学校の国語 A で、その他の教科は全国平均を下回った。
- (2) 昨年全国平均を下回っていた中学校国語 A が今年度は全国平均を上回る等、改善している教科もあるが、全国平均を下回る教科が複数あり、今後、学力向上に関する取り組みをしっかりとしていかなければならないととらえている。
- (3) 本市で継続して行っている標準学力検査は、小学校 4 年生から中学校 1 年生までは 4 教科、中学校 2、3 年生は 5 教科の検査を行っている。本市の今年度の結果は、小学校 4、5、6 年生、中学校 1 年生までは全教科、中学校 2 年、3 年では 3 教科で全国標準を上回った。
- (4) 全国学力・学習状況調査の分布から、上位層が少なく、伸ばし切れていない。
- (5) 今年度の学習状況調査では、小中学校とも「地域とのつながり」「読書への興味」に関する質問項目については全国平均を上回ったが、一方「TV やゲーム」や「携帯電話・スマホ」を使用している時間が全国平均を上回り、「2 時間以上家庭学習をしている児童・生徒の割合」が全国平均を下回った。教育委員会としては、学校保健委員会等を通して、「TV やゲーム、スマホ」から離れる時間を確保するアウトメディア等の取り組みを推進している。
- (6) 学力と深い関係がある読書についても、学校図書館の開館時間を工夫するなどして、貸し出し冊数が増えてきている。
- (7) 児童生徒の学校生活・学習活動の充実や集団への不応適状態にある児童生徒への支援にあたるため、本年度は、小学校 19 校・中学校 7 校に計 40 名の教育支援員を配置している。教育支援員が教員と連携して、授業や行事等で障がいの特徴や個別のニーズに寄り添った支援を行うことで、児童生徒の生活・学習活動に対する意欲の向上に結びついている。一方、学校には、命に関わる危険への対応や 1 対 1 の支援を要する児童生徒が複数在席しており、教育支援員配置への期待は大きくなっている。

### 2 今後の施策

#### <これまでの施策の継続>

- (1) 平成 27 年度より Q-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）を導入し、生活と学習の向上を一体としてとらえて、高め合う学級集団づくりを通じて、学力向上に結びつけようとする取り組みを行っている。良好な人間関係のもとにいきいきと学び合い、お互いに表現し合える学級づくりを推進するため、学級経営に関する講話や研修会を実施するとともに、各校へ外部講師を派遣し研修会への支援を行っていく。
- (2) 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、改善すべき課題を明確にするとともに指導のあり方を検討し、市の分析資料の中に各教科の課題が見られる問題について、どのように授業で対応したらよいかについて具体的に助言している。各学校では、分析資料を活用して指導の改善に努めている。このような取り組みを広めるために、指導主事の各校への訪問を通して、校内授業研究会の充実と授業改善に向けた取り組みへの支援を行っていく。
- (3) 算数・数学に関する「小中授業力向上研修会」を実施し、酒田市教育研究所との連携を図りながら、小中学校の校種を越えて「思考力」「知識・技能を活用する力」の育成や「言語活動」の充実を意図した授業づくりに取り組み、指導技術の向上と授業改善を進めるとともに、研修の成果を拡充していく。
- (4) 本市で大切にしている読書活動を継続して充実し、言語活動の基盤を培い、思考力・表現力を育成するとともに、授業での「調べ学習」を充実するため、利用しやすい学校図書館の環境整備を進めていく。
- (5) 家庭学習のあり方と携帯電話、スマホ、ゲームの利用のあり方について、小中連携した学校と家庭の取組を推奨していく。

#### <新規で取り組んでいこうと考えている施策>

- (6) 今まで算数・数学に特化していた「小中授業力向上研修会」を英語にも拡充し、指導技術の向上と授業改善を図ることで、弱点教科の克服に取り組んでいく。算数・数学については研究内容を市から依頼し、単元を通して力を付け、それを評価する問題を研究していく。
- (7) 地区校長会と連携し、教科の指導力向上のための研修会を工夫し、教員の指導力向上と学力向上をセットで推進していく。
- (8) 7 月に「酒田の子どもの学力向上推進会議」を開催し、大学教授、県教育委員会、家庭教育アドバイザー等から学力向上対策についてご意見をいただいた。12 月に行われる第 2 回学力向上推進会議では、具体的な施策について議論していく。